

# 令和6年度 北九州市立穴生中学校 学校経営方針

## 学校教育目標

「知・徳・体の調和のとれた、心豊かで、学校や地域を愛し、  
自主自立の精神に満ちた生徒の育成」

令和6年4月1日  
北九州市立穴生中学校  
校長 瀧上 瑞恵

「当たり前」を積み重ねると、「特別」が生まれる。

生徒の成長が見える学校

時代に即した当たり前の概念への柔軟な対応を基盤として  
骨太の生徒の育成 “当たり前のことが**当たり前**にできる生徒”  
+1主体的に +2当たり前に感謝

笑顔の絶えない教師集団  
「チーム穴生」の信頼と結束

### ◆ 目指す学校像

「可能性を最大限に伸ばし、生徒一人一人が、輝く学校」

- 生徒にとって「誰もが安心して精いっぱい学びあえる」学校
- 教師にとって「やりがいと誇りをもって取り組み、生徒の成長を実感できる」学校
- 保護者にとって「安心して子どもを任せられる」学校

### ◆ 校訓・目指す生徒像

自主 自ら考え正しく判断し進んで行動できる生徒  
友愛 互いを認め合い高めあう、心身ともに健全な生徒  
勤勉 自ら学び、創造性に富む生徒

### ◆ 目指す教師像

- 教育公務員として使命感を自覚し、校風の確立に努める教師
- 生徒理解に努め、厳しさと優しさのある指導ができ、生徒のよさを伸ばす教師
- 常に授業の改善に努め、子ども一人一人への温かな関わりを礎として、学力・体力向上に努める教師
- 自己申告書・自己評価や学校評価を生かし業務改善に努め、生徒、保護者、地域住民に信頼される教師

<6つの具体的な取組> 全校体制でのP D C Aサイクル

## 1 学力向上に関する取組 SDGs9, 11, 12

スクールプランに基づき、生徒の実態に即応して指導内容や方法を工夫・改善し、学びの質を高める授業を行う。《ユニバーサルデザインの視点を生かした授業づくり》

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの学習・指導改善
- 新学習指導要領に即して指導と評価の一体化を図り、生徒一人一人のよさや可能性を引き出す指導法の改善（評価基準・評価方法の明確化）
- 基本的な学習規律の確立・・・学びの基盤となる「根っこ」を育む。
- 教科横断的な視点をもって「探究的な学び」を計画的に実施する。
- 探究のプロセスを大切に、自ら考え、仲間と協力して（知識や情報を活用する等）行動し、新しい考えを生み出したり、責任をもって社会参加を実現していったりする力を育成する。
- 学習意欲を高めるために、保護者と協力して、家庭学習定着の必要性について積極的に情報提供を行う。⇒学習規律、学習習慣及び学習リズムの確立
- 少人数指導の推進（習熟度別学習・チームティーチングなど）

## 2 体力向上と豊かな心を育む取組 SDGs2, 3

たくましく生きるための健康・体力作り等、人間の活動の源であり意欲・気力とも深く関わっている体力の向上を推進する。また、「生きる力」を養い人間性と社会性を伸ばす「心の教育」の創造に努める。

- 運動習慣の定着を図り運動やスポーツが好きな生徒の育成
- 食育の推進
  - ・ 基本的生活習慣の確立を図るため、食育（学校給食）を推進し、マナーや倫理的感覚を育てるとともに、規範意識の向上に努める。
  - ・ アレルギー疾患等のある生徒への適切かつ迅速な対応
- 道徳教育、人権教育の推進と「心を育てる教育」の充実
  - ・ 「心を豊かにする」教育環境の整備を図り、「生きる力」を養い人間性と社会性を育む。
  - ・ 特別な教科道徳の確実な実施と評価の工夫（時間の確保と指導内容の充実）  
自己の生き方について考えを深める道徳、感性を大切に教育

## 3 確かな人権感覚を育む人権教育の取組 SDGs5, 10, 16

あらゆる教育活動を通して確かな人権意識、人権感覚による温かい指導を徹底する。《人権感覚のアンテナは常に高く敏感に》

- 特別支援教育の充実（全ての学びの場で）
  - ・ 配慮の必要な（個性派タイプの）生徒について全職員で共通理解
  - ・ 特別支援学級と通常の学級の交流推進
- 「いじめは絶対に許されない」という認識の徹底
- ・ 人権確保にむけて学校をあげて即日対応で取り組む。
- 多様性への対応等、「だれにとっても居心地の良い」集団づくり

一人ひとりが主役

穴生中学校

## 4 自尊感情、自己有用感を高め、自己実現を目指す生徒指導の取組 SDGs10

組織的な校内指導体制の基、教育活動全体を通して共感的な生徒理解を基盤に据えた、積極的な生徒指導を展開する。

- 教師と生徒及び生徒間の好ましい人間関係づくりの促進
  - ・ たくさんの笑顔と温かいまなざし「チェックマン」より「チャッカ（着火）マン」
- カウンセリングマインドを生かした「教育相談」の実施
- 不登校傾向の生徒への丁寧な指導・支援 「一人ひとりに居場所のある」体制
- 問題行動や非行に対する指導体制の確立及び教師間の連携⇒ネットワーク
- 保護者や地域との信頼関係づくり及び関係機関、SC、SSWとの積極的な連携
- 小中連携教育の推進
  - ・ 中1ギャップを解消する教育的支援の小中学校の支援体制の充実
- 社会通念の変化に対応した継続的な校則の見直し

## 5 家庭・地域の教育力向上に関する取組 SDGs11

「地域のなかにある学校」という認識のもと、地域との協働による教育活動をさらに活性化させ、生徒の全人的成長を図る。

- 学校日より、学年日より等による情報発信
- ホームページを定期的に更新し、情報の積極的発信
- 穴生中校区での情報交換や協議の充実（地域の教育力を導入、地域行事への参加、学校開放週間の実施等）
- P T A（任意加入の団体）との連携、諸会議・諸活動への参加
- 学校運営協議会の効果的な活用
  - ・ 国型コミュニティ・スクール（R8全校実施）への移行準備

## 6 安全・安心の基盤に立った教育環境整備の取組 SDGs3, 11

潤いと安らぎのある環境づくりを推進し、日常の安全管理を徹底する。《凡事徹底》

- 生徒及び教職員の健康管理を徹底し、心身の健康増進の積極的推進（感染症対策の徹底）
- 登下校の安全確認の徹底、真剣な避難訓練・安全指導の実施
- 学校生活における怪我の予防及び登下校時の安全指導（不審者への対応）
- 危機管理体制の確立を図り、学校管理下における事故・事件の防止と処理及び、早期対応の徹底⇒危機管理マニュアル参照
- ICT機器を活用した授業の推進
  - ・ 一人一台端末を活用した授業（考えをまとめたり発表したりする場面、個別最適な学び等で活用）
- 読書活動の充実
  - ・ 学校図書館の充実と活用の促進
- 各教室の環境整備と学校の環境美化「ごみひとつに心を配れる生徒に」
- 物品（薬品・教材・教具等）の保管・管理の徹底

経営上のキーワード “Change” & “Challenge” 「これでいいと思うまいや！」

### 前例踏襲ではなく、時代の流れをつかみながら、常に変化させ、挑戦する学校

○ 全職員一体となった協働体制 職員集団「チーム穴生」の実現（学年の枠を超えて一人ひとりのよさの発揮）

～教師同士が何でも相談し合える職員室に～

- ・ 「ん？」と感じる教師の直感を大切にしよう。
- ・ 報告・連絡・相談・確認・結果の記録・調整、一つ上の対応の習慣化。  
(生徒指導は情報が命・・・初期対応を大切に、事実のみ)
- ・ 危機管理の“さ・し・す・せ・そ”を大切に
- ・ 「指導する先生」と「見過ごす先生」がないようにしよう。 是は是、非は非として、毅然とした対応を。  
「黙認、馴れ合い、えこひいき」は生徒から最も軽蔑される。

- 働き方改革に伴う業務改善を推進し、ワークライフバランスの充実を図る。<スクラップ&ビルド> 教職員のウェルビーイングの実現に努める。
  - ・ 校務分掌組織による職務遂行と機能化、及び業務の効率的な運営や工夫 教育指導計画（授業時数）の点検と見直し
  - ・ 会議の効率化を図るための内容の事前予告（開始時刻の厳守）
- 教師力向上「教育の質は教師の質を超えられない」（Off-JTやOJT等による資質・能力向上）全員で支える若年研修・・・互いに学び合う教師集団
  - 部活動がもつ大きな意義をより多くの生徒が体験し、資質・能力を伸ばせるよう適切な指導と運営に努める。
    - ・ 部活動休養日や活動時間設定の厳守及び部費等の金銭経理は公正にし、市民の目線にたった公正な運営を心がける。
  - 不祥事ゼロに向けての取組 服務について（管理職へ必ず連絡）  
体罰及び不適切な指導の撲滅・飲酒運転の禁止・信用失墜の行為の禁止・服務規律の厳守・セクハラ・パワハラ・わいせつ行為の禁止・個人情報漏洩防止 <綱紀粛正 教育公務員としての自覚とコンプライアンス（法令順守）の徹底>